

## 平成27年度 仙台大学大学院 授業概要

<b>授業科目名</b>	健康支援・介護予防演習		<b>担当教員</b>	小池和幸／関矢貴秋／笠原岳人			
	Seminar on Health promotion and Long-term Care(S.)						
<b>領域水準コード</b>	G-3	<b>単位数</b>	2	<b>履修方法</b>	選択	<b>授業の方法</b>	演習
<b>授業の概要</b>							
(1) 健康支援関係の国内外における最新の研究論文等を提示しレポートにまとめさせプレゼンテーションさせる。							
<b>授業の一般目標</b>							
研究論文などを分析しまとめ、プレゼンテーションすることができる。							
<b>授業の到達目標</b>							
<b>■ 認知的領域</b>	地域における健康支援や介護予防、医療やリハビリテーションでの健康支援や介護予防の実際及び課題について理解する。						
<b>■ 情意的領域</b>	国民の健康づくりや介護予防の現場に関心が高まる。健康づくりの職業としての関心が高まる。						
<b>■ 技能表現的領域</b>	課題に対して根拠を示してディスカッションができる。小論文を作成し、資料やスライドを用いてプレゼンテーションができる。						
<b>授業計画(全体)</b>							
授業の前半は担当講師の基礎講義、問題提起としての講義及び学生の課題に対するプレゼンテーションを状況に合わせて適宜、織り交ぜながら授業を展開する。後半部分で各テーマについてディスカッションを実施、考察する。							
<b>授業計画(詳細)</b>							
<b>授業テーマとその内容</b>							
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. オリエンテーション</li> <li>2. 地域支援と健康支援・介護予防1 (小池) : 地域の健康づくり・介護予防の変遷</li> <li>3. 地域支援と健康支援・介護予防2 (小池) : 地域の健康づくり・介護予防の実際と課題</li> <li>4. 地域支援と健康支援・介護予防3 (小池) : 地域密着型の健康づくり支援システムの構築1 (地域の健康づくりと大学教育の連携事例)</li> <li>5. 地域支援と健康支援・介護予防4 (小池) : 地域密着型の健康づくり支援システムの構築2 (健康支援を支える理論)</li> <li>6. 医療と健康支援・介護予防1 (関矢) : 医療現場における介護予防の考え方と未来。</li> <li>7. 医療と健康支援・介護予防2 (関矢) : 地域医療における介護予防への取り組みと課題の考察。</li> <li>8. 医療と健康支援・介護予防3 (関矢) : 高齢者の筋力トレーニングと実際。医療・福祉現場における介護予防への取り組みと課題について考察する。</li> <li>9. 医療と健康支援・介護予防4 (関矢) : 障害科学の実践。脳卒中片麻痺における訓練と身体機能変化の考察。</li> <li>10. 医療と健康支援・介護予防5 (関矢) : 足漕ぎ車いす訓練と生活自立。利用者の介護予防と介護者のQOLへの効果について。</li> <li>11. リハビリテーションと健康支援・介護予防1 (笠原) : 加齢にともなう心身の変化について</li> <li>12. リハビリテーションと健康支援・介護予防2 (笠原) : 介護予防の評価方法について</li> <li>13. リハビリテーションと健康支援・介護予防3 (笠原) : 健康行動につながる行動科学について</li> <li>14. リハビリテーションと健康支援・介護予防4 (笠原) : 健康支援・転倒予防の実践的な介入例 (1)</li> <li>15. リハビリテーションと健康支援・介護予防5 (笠原) : 健康支援・転倒予防の実践的な介入例 (2)</li> <li>16. 総合レポート課題</li> </ol>							
<b>授業外学習の指示等</b>							
各授業テーマの課題のまとめとプレゼンテーションの準備(資料作成も含む)。							
<b>成績評価方法(方針)</b>							
各担当教員毎の課題及びレポートと総合レポート、ポートフォリオ、プレゼンテーションの内容等を総合的に評価する。							
<b>成績評価方法(詳細)</b>					<b>履修上の注意(受講に当たって学生に望むこと)</b>		
	到達目標	認知的領域	情意的領域	技能表現的領域	評価割合 (%)	授業を欠席する場合は事前に各担当教員へ連絡すること。	
成績評価方法							
定期試験(期末試験)							
小テスト・授業内レポート							
授業外のレポート	○	○	○	50%			
ポートフォリオ	○	○		20%			
出席				欠格条件			
その他			○(プレゼンテーション)	30%			
<b>関連科目</b>							
<b>教科書</b>							
なし。適宜プリントを配布する。				<b>参考書</b>			
<b>連絡先</b>							
小池研究室:F棟2階/関矢研究室:F棟2階/笠原研究室:F棟2階							